

一級河川鳴瀬川水系 南川 南川ダムの効果(令和4年7月14~16日)【速報】

宮城県

○南川ダムでは、令和4年7月14日から令和4年7月16日に、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が146mm,最大時間雨量では24mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画460m³/sに対し、**56.22m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の69.2%(38.93m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



南川ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	16日 0時 10分	終了	16日 12時 10分
・ダム流域累計雨量	146 mm	(14日 22時 ~ 16日 22時)	
・最大時間雨量	24 mm	(16日 0時 ~ 16日 1時)	
・ダムへの最大流入量	56.22 m ³ /s	(16日 2時 40分)	
・最大流入時の放流量	17.29 m ³ /s	(17位/86洪水)	
・ダムによる最大調節量	38.93 m ³ /s	(約 69.2%)	

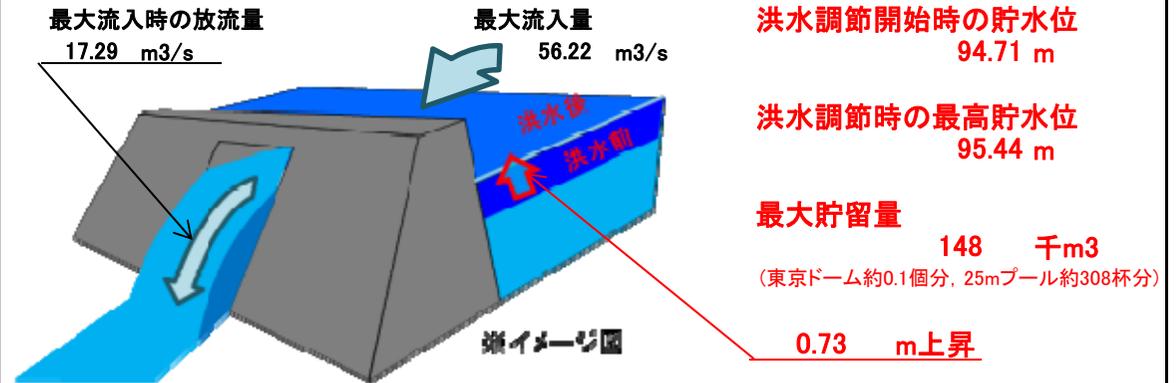
ダムの状況写真



貯水位 EL 95.38m
洪水後 (7月16日13時10分)

南川ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 69.2% をダムに貯留しました。



○南川ダムの洪水調節等により、吉田川の落合地点で、**水位を約0.77m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真

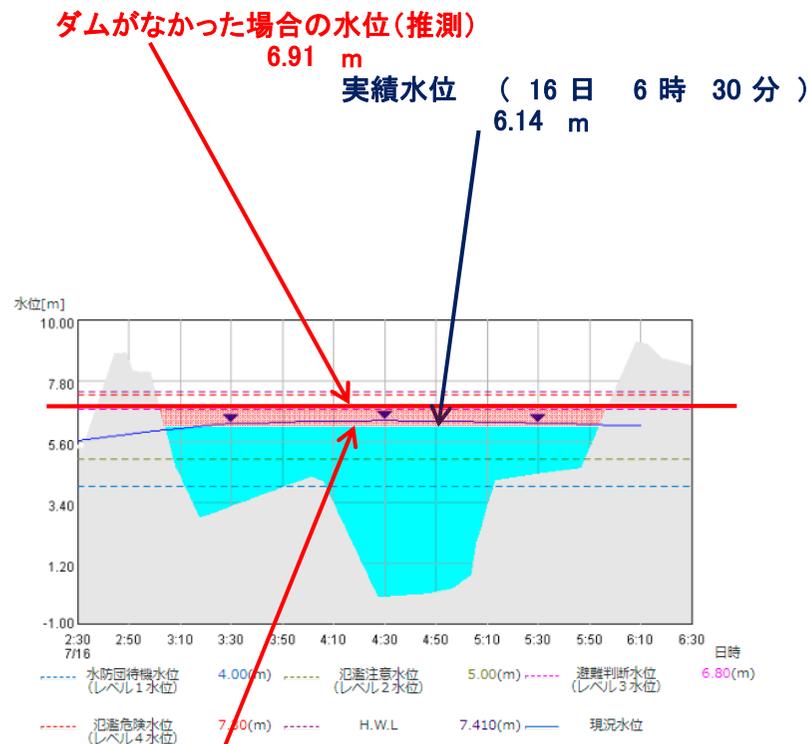


吉田川(魚板橋上流)(洪水後7月16日12時40分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)



吉田川(魚板橋下流)(洪水後7月16日12時40分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)

吉田川(落合地点)の水位低減効果



ダムにより約0.77mの
水位低減効果を推測